



学校便り

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> Eメール kanai-es@sado.ed.jp

佐渡市立金井小学校 平成29年11月24日 第8号

学びの学校文化の発信

校長 羽二生 裕



4年生「みんなで守ろう！
トキが舞う島～佐渡島～」

朝晩の冷え込みが厳しくなり、初霜の知らせが届く頃となりました。学校の教育活動の中で、最も時間をかけて計画・準備を進めているのが文化祭です。『金井小文化祭』では、大勢の保護者の皆様や地域の皆様から御来校いただき、各学年の学習発表会や絵画・工作などの作品を見ていただきました。各学年の4月からの成長をご覧いただけたことと思います。また、食品バザー等では、皆様方

から御協力をいただき、子どもたちの文化祭を大いに盛り上げていただきました。本当にありがとうございました。

4年生の子どもたちの文化祭後の感想を紹介します。

- 文化祭で学んだことは、一つ目は自分の最高の声は勇気を出せば必ず出せるということです。二つ目は大きな動作をすれば、後ろまで見えて伝わるということです。4年生みんなで、見に来てくださった人にトキのことを伝えられたので、とても良かったです。
- 文化祭の練習で、心を一つにすることは大切だということを学びました。最初は、歌やセリフのタイミングが合わなかったけれど、練習をしていって、みんなが一つになり、最後の練習で99点をとれました。そして、本番は、みんな真剣に頑張り、とてもいい発表になりました。全力でくいのない発表ができました。

嬉しい子どもたちの学びの学校文化の発信です。練習で力を出し切って頑張ったからこそ、本番の学習発表会で感じ取った一人一人の子どもたちの満足感であり、友達との達成感であったと思います。

さて、私は11月2日の全校朝会で子どもたちに次のような話をしました。「11月3日の『文化の日』の祝日の意味を話した後、日本に『文化』があるように、学校にも文化があります。学校の文化を『校風』と言います。今、皆さんは学校の文化・校風を創っています。卒業した先輩から受け継いでいる校風もあります。それを『伝統』と言います。そして、今、皆さんが創っている『校風』には、3つあります。分かりますか・・・？一つ目が、玄関に入った時の『くつのスーピタ』です。二つ目が、いつでも、どこでも、誰にでも『あいさつサンドイッチ』です。三つ目が、皆で日々気を付けている『廊下の右側歩行』です。これらの3つの『校風』が、しっかりと受け継がれていくと『よい伝統』になります。『よい伝統』が創りあげられると、学校が落ちて楽しくなります。」という話をしました。



玄関の「くつのスーピタ」

こうした学校の良き伝統を創りあげるには、多くの知恵と長い時間と子どもたちと先生方との日々の努力が必要です。今、金井小は新生・金井小となり5年目を迎えています。一つ一つの学校行事や学習、活動等を大事にして佐渡の中心校としての伝統と誇りを創り出しています。子どもたちの教育活動への御支援と御協力を、今後もよろしくお願いいたします。